

執 筆 要 領

1. 原稿の表紙：原稿の表紙ファイルには、論文題名、著者名、所属及び所在地（e-mailアドレスも）を和文と英文の両方でそれぞれ明記する。
2. 原稿は、保健科学研究会HPに掲載している編集委員会所定の書式を用いる。

3. 要旨

- (1) 論文には要旨をつける。
- (2) 要旨は論文が英文の場合には和文要旨（400字以内）を、和文の場合は英文要旨（200語以内）をつける。

4. キーワード

- (1) 論文の題名、著者名、要旨の次に「キーワード」と見出しをつけて記載する。
- (2) キーワードの選定数は、原則として5個以内とする。
- (3) キーワードは、論文が和文英文のいずれも和文と英文の両方で記載する。
- (4) 英文は、固有名詞、略語などの特殊な場合を除き、小文字で記載する。
- (5) 各キーワード間はコンマで区切る。

5. 論文中で繰り返し使用される名称は、略称を用いることが出来るが、初出の箇所に正式名を書き、続けて（ ）に入れて略称を示す。

[例：Activities of Daily Living (ADL)]

6. 形式等

- (1) 英文のフォントはTimes New Roman, 半角とし、サイズは和文英文のいずれも論文様式にしたがう。
- (2) 英文のタイトルは、最初の文字のみ capital にする。
- (3) タイトルに含まれる著者名の右肩に付ける所属のアスタリスク（*）は、1名（あるいは所属が同じで複数名）の場合、「*」とし、所属が異なっており2名以上の場合、「*1, *2・・・」とする。
- (4) 著者名には所属も付ける。
- (5) 文章中に用いられる数字の種類とそのランク付けについては、以下のようにし、それよりも深いレベルでは著者に一任する。

[和文論文]

I, II, III・・・1, 2, 3・・・
(1), (2), (3)・・・
①, ②, ③・・・
i), ii), iii)・・・

[英文論文]

1, 2, 3, ……
1.1, 1.2, 1.3・・・
1.1.1, 1.1.2, 1.1.3, ……

- (6) 英文の論文の各セクション（Introduction等）は、すべての文字を capital にする。
- (7) 印刷に当たって指定したい事項（字体・打点部分・下線・傍線など）は原稿内に朱書きし、説明を加える。

7. 図(Figure), 表(Table)及び写真(Photograph)

- (1) 図及び写真は完成されたものとする。
- (2) 掲載（印刷）時の図、表及び写真の文字等是不鮮明とならない大きさとし、フォントは原稿と同じものを使用する。

8. 引用文献

- (1) 引用文献は本文末尾に一括して引用順に記載する。本文中においては引用箇所の右肩に¹⁾, ^{1, 3)}, ¹⁻⁴⁾ のように表示する。
- (2) 英文で投稿する場合に、英語以外の言語で書かれた引用文献に英語表題の記載がないときは、原文の表題をアルファベットで表記する。かつ、その英訳を[]内に記し、末尾に (in Japanese) を記載する。
- (3) 引用文献の記載の形式は下記のとおりとする。

[雑誌] 著者名：論文題名. 雑誌名, 巻 (号): 頁, 年.
例

1) 片山美香, 松橋有子: 思春期のボディイメージ形成における発達的研究—慢性疾患群と対照群との比較調査 から—. 小児保健研究, 60: 401-410, 2001.

2) Ding WG, Gromada J: Protein kinase A-dependent stimulation of exocytosis in mouse pancreatic β -cells by glucose-dependent insulinotropic polypeptide. Diabetes, 46: 615-621, 1997.

3) Sato T, Otsu H, et al.: Soshaku ga ippankoureisha no tankikioku ni choukitek ni ataeru eikyou [Long-term effects of mastication on short-term memory of the general elderly]. Review of Japan Society of Health Support Science, 2: 11-20, 2015 (in Japanese).

[単行本] 著者名: (論文題名). (編者名). 書名. (版). 頁, 発行所, 発行地, 年.

例

1) 高橋雅春, 高橋依子: 樹木画テスト. pp.30-44, 文教書院, 東京, 1986.

2) Gorelick FS, Jamieson JD: The pancreatic acinar cells: structure-function relationships. In: Jonson LR. (ed) Physiology of the gastrointestinal tract, 3rd ed, pp.1353-1376, Raven Press, New York, 1994.

3) Makino, N: Enbun hayawakari [Early understanding of sodium]. 1st, pp.25-30, Women's College of Nutrition, Tokyo, 1998 (in Japanese).

註1. 記載形式の（ ）内は必要に応じて記入する。訳者、編者等に関しては氏名のあとに訳、編などをつける。

註2. 著者が2 名の場合は全員記入し、3 名以上の場合は省略形式を用いてもよい。

（例：○○○，○○○，他〔和文の場合〕，
○○○，○○○，et al. 〔欧文の場合〕）

註3. 雑誌名は慣用の略称（Index Medicus など）を用いる。

〔URL〕 URLのアドレス（参照年月日）

例

1) <http://www.hirosaki-u.ac.jp/>（2010-05-20）

9. その他

（1）人及び人体材料を用いた研究の場合は、原則的に所属機関の倫理委員会などの公的審査会で認められた研究内容で、同意書等を取得した上で得たデータでなければならない。また、動物を対象にした研究論文は、所属機関で規定される実験動物に関する管理と使用に関するガイドラインに従った旨を明記する。

（2）英文論文、和文論文の論文題名、要旨、キーワード等については、翻訳業者などの native speaker の校閲を受ける。証明書等の提出を求めることがある。

10. 個人情報の保護

個人情報の保護の観点から、たとえ学術論文であっても容易に個人が特定されないように、症例等の記載については十分配慮されなければならない。

11. 利益相反（conflict of interest (COI)）の開示

投稿にあたっては、当該論文に関わるCOI状態について、所定の書式により報告しなければならない。この利益相反報告書の内容は、論文末尾、謝辞または参考文献の前に記載する。規定された利益相反状態がない場合は、「利益相反なし」「No potential conflict of interest were disclosed.」などの文言を同部分に記載する。